

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E112K005		体育実技 (体づくり・陸上競技) (Physical Education Practice)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	1	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 玉江 和義、谷口 勇一 E-mail 玉江 (k-tamae@oita-u.ac.jp) 谷口 (tyuichi@oita-u.ac.jp) 内線 玉江 (7624)												
授業の概要	・「体づくり運動」領域の目的と内容を理解し、その指導方法を身につける(体づくり) ・陸上競技(短距離走、リレー走、ハードル走、走高跳、砲丸投、長距離走)の技能を理解し、指導方法を身につける(陸上競技)																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 「体力を高める運動」と「体ほぐしの運動」を通して、「体づくり運動」の領域特性とその目的を理解できる																		
目標2 陸上競技の各種目に求められる基本的な動きや効率の良い動きを発展させることができる																		
目標3																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 オリエンテーション(本授業の展開について、体づくり運動の現状) (担当:玉江和義)																		
2 「体力を高める運動」の実践(1) (担当:玉江和義)																		
3 「体力を高める運動」の実践(2) (担当:玉江和義)																		
4 用具を用いて動く(ボール) (担当:玉江和義)																		
5 用具を用いて動く(縄) (担当:玉江和義)																		
6 一連の動きを構成する (担当:玉江和義)																		
7 実践とまとめ (担当:玉江和義)																		
8 オリエンテーション(本授業(陸上競技)の展開について) (担当:谷口勇一)																		
9 効率的な短距離走動作の理解と修得 (担当:谷口勇一)																		
10 リレー走の技術理解と修得 (担当:谷口勇一)																		
11 ハードル走の技術理解と修得(1) (担当:谷口勇一)																		
12 ハードル走の技術理解と修得(2) (担当:谷口勇一)																		
13 走高跳の技術理解と修得 (担当:谷口勇一)																		
14 砲丸投の技術理解と修得 (担当:谷口勇一)																		
15 長距離走の技術理解と修得 (担当:谷口勇一)																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	学習内容に関するグループワークを実施し、理解を深める。					工夫 その 他の	適宜、発問-応答などによる相互発展的な授業を構築し、それが授業グループ間、およびグループを超えた仲間間でのPeer Teachingなどに発展するように主体的な学習を促す。										
	B:意見の表現・交換																	
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	授業以外の時間において、自らの心身の運動を主体的に行うことを通しての、実践的な感覚づくりや理論的気づきを促す。																
	事後学修	授業において学習した内容論と方法論を実践することを促し、それを記録化の上での継続することを奨励する。																
教科書	特になしとするが、学習指導要領(中学校編・高等学校編)の内容を踏まえ、適宜関係資料を配布する。																	
参考書	特になし(適宜、担当教員より授業資料を配布する)																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	前半試験(各授業での小テストも含む)	50%																
	後半試験(各授業での小テストも含む)	50%																
注意事項	理由なき遅刻や欠席は厳禁とする。授業における準備(授業前の検温や体調管理、マスク着用、資料集などの用意、など)を万全にして受講されたい。その上で、授業内容に適した服装をし、筆記用																	
備考																		
リンク																		
	URL																	

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	この科目については、3年ほどの経験を有するほか、二人の担当教員とも、他の類似教科および他学での教育において複数年の経験を有する